



学校だより



(担当)
教頭

<学校教育目標>

かしく やさしく たくましく

2025年2月5日(水) No.7

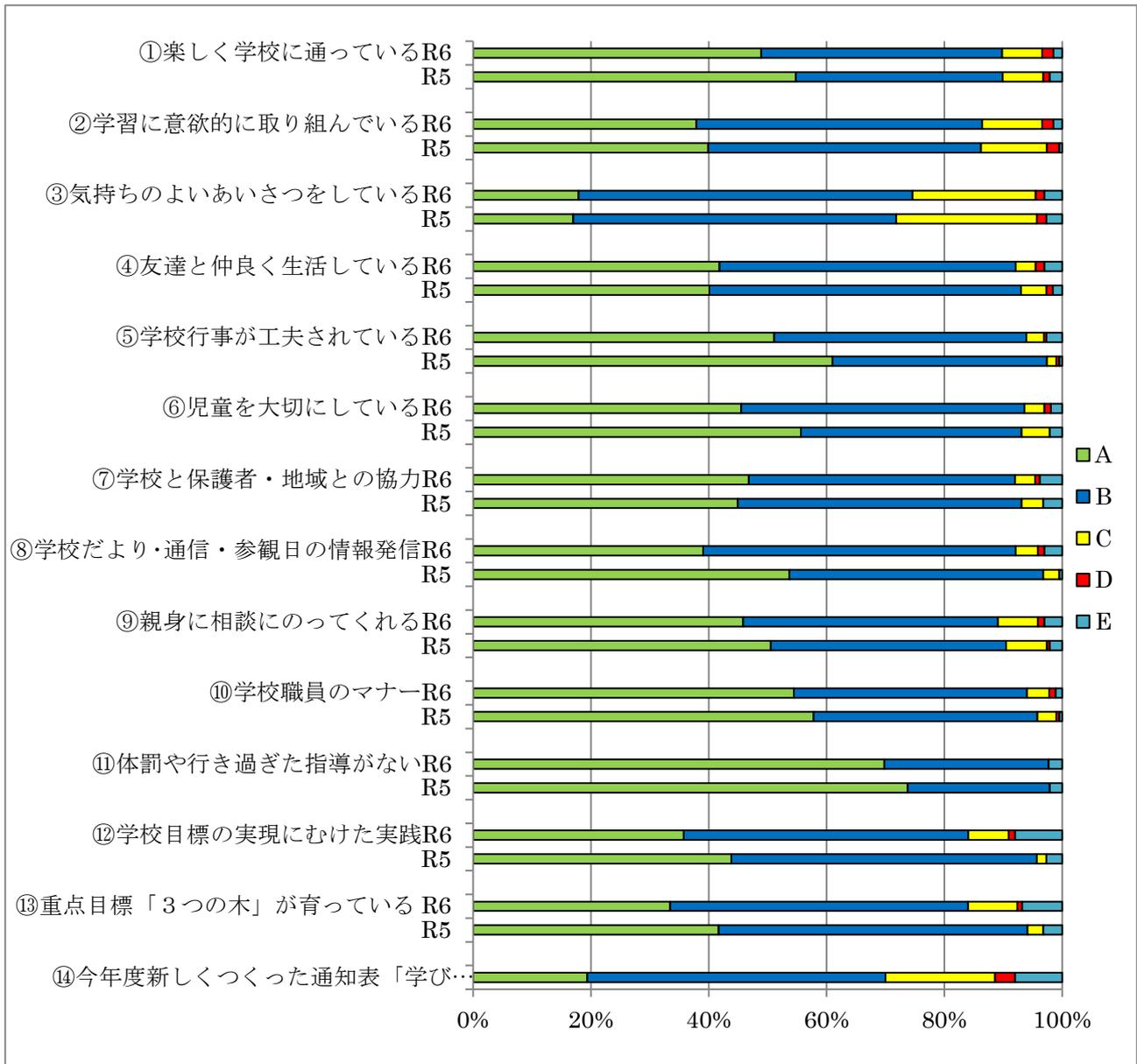


保護者アンケート集計結果

保護者の皆様には、2学期に実施した学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございます。結果のご報告いたします。この結果をもとに、今年度のこれまでの取り組みをふり返し、今後の学校運営の改善に努めてまいります。

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまり思わない D： 思わない E：不明・無回答

【上段令和6年度 下段令和5年度】



1 今年度の成果と課題

- 「あいさつ」と「今年度の通知表」以外の項目で A・B の評価が80% を超えています。肯定的な評価が多いのですが、「楽しく学校に通っている」の項目で、A・B 合わせた評価は変わっていないものの、A の評価が低くなっていたり、「あまり思わない」「思わない」を合わせた否定的な評価も増えたりしていることから、子ども全員が楽しく、意欲的に学習に取り組めるよう授業改善をさらに進めていきます。
- 「学校行事の工夫」「体罰・行き過ぎた指導がない」の評価が高く、コロナ後に工夫されてきた望月小学校の特色をいかした学校行事が受け入れられていることがうかがえます。各行事での児童や保護者の負担を減らすことも考えていきます。
- 「気持ちのよいあいさつ」の評価が下がっている。地域の方々には、登校中のあいさつを評価していただいているので、学校職員から進んであいさつし、校内でも気持ちのよいあいさつが交わせるようにしていきたいです。
- 「今年度新しくつくった通知表」は、まだ馴染めない様子がうかがえます。保護者の声を真摯に受け止め、懇談会においてより伝わりやすい通知表になるように改善をしていく必要を感じました。

2 自由記述欄のご意見について

学校に対する感謝の言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。また、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見に対しては、職員間で共有し、もちっこ応援団推進委員会（学校評議員会）でご報告してご意見をいただきました。通知表については、内省する時間を小学生のうちから身につけることに評価をいただいた反面、「わかりにくい」「先生からの評価がほしい」といったご意見をいただきました。本校では、教師がどう思っているのかではなく、「自分自身がどうなりたいのか」を大切にしたいと考えています。児童自身の学びを振り返り、学ぶ意欲や自信を持って学びに向かうことを願い「学びの足跡」としてしています。◎や△の記号のみの評価や所見欄の記述では具体的なよさや課題が伝わりにくいという保護者の皆様のご意見を踏まえ、本年度から保護者懇談会を2回に設定しました。学校での学習の様子を直接お伝えし、児童にとっての成長を保護者の皆様と共に考えていきたいと思います。

また、クラスの実態に対して、大人の手が足りていないというご意見もいただき、個々の子どもの特性に目を向け、専門的な目から個人の支援ができるよう、取り組みを始めました。今後もお気づきの点がありましたら、随時学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

3 来年度の取り組み

本校は、スクールバスの発着の関係から放課後の時間がとれず、先生が子どもとじっくり向き合う時間がほしいと長年考えていました。そのための具体的な取り組みとして、日課のありかたの研究を始められています。中学校とも密接に関係するバスの運行を妨げず、1年間に必要な授業時数や行事の時間を確保しながら、放課後に先生が児童と向き合ったり十分な授業準備をしたりできる時間を創出するため、午前の時間割を工夫していきます。

- (1) 登校、下校のバスの時間を妨げないように放課後の活動時間を生み出したい。
- (2) 午後の日課に余裕を持たせることで、先生の授業準備・改善とともに児童としっかり向き合うための業務改善につなげます。
- (3) 高学年になるにしたがい増えてくる児童会活動や行事への取り組みの時間を確保し、子どもたちが自分なりの学びを深めたり十分に学校で遊んだりできる時間を今までの日課を工夫することでつくりたいと考えます。